



令和 7 年度 学校運営協議会 三校合同会

「小合地域の教育が目指す人間像」

「小合中の教育が目指す生徒像」「達成のための主な手立て」

今回、子どもと大人が小合地域に対する熱い想いや願いを語り合いながら、「小合地域の教育が目指す人間像」「小合中の教育が目指す生徒像」「その達成のための主な手立て」を模索しました。この取組を牽引したのは、小合中の有志生徒からなる小合デザイナーです。小合デザイナーは総勢 17 名で、○○○○さん(中2)、○○○○さん(中1)、○○○○さん(中1)の 3 名が代表を務めます。

10月28日に開催された小合中第2回学校運営協議会、11月28日開催の学校運営協議会三校合同会、そして、12月17日小合中を会場に開催された区長と語る会にて、小合デザイナーを中心に議論されました。特に三校合同会では、三校のCS委員、教職員、小合コミ協学校部の方々、ミラビの方々、秋葉区社会福祉協議会の方々、そして小学6年生の有志児童が集いました。それらの様子を紹介します。



11/28 提言する小合デザイナーの 8 名のリーダー



11/28 議論を深める小合地域の子どもと大人



12/17 最終提言する小合デザイナーリーダー、提言を受ける井浦コミ協会長、見届人の長崎秋葉区長



小合デザイナーの提言



1

地域みんなに溢れる笑顔を!
「小合地域が目指す人間像」
「小合中が目指す生徒像」
「達成のための主な手立て」

小合デザイナー活動

なぜ?活動の背景と目的

背景 Society5.0

世界を取り巻く状況その1
Society5.0

人類社会発展の軌跡

「もの」と「インターネット」が融合した、便利な社会。

背景 AIの活躍

AIが優れている
・AIが人間の知識を上回る
・予測不能な速度で技術革新が進む
・2045年~2050年頃

人間が優れている
・創造性(新しいアイデアを独自に生み出力)
・偏見を持たない判断

背景 世界を取り巻く状況その2
世界は狭くなった

日本で働く
海外の方々
地域別にみた人々の移動
グローバル化

背景 世界を取り巻く状況その3
気候変動

世界で起きた自然災害
もはや熱帯?

背景 世界を取り巻く状況その3
気候変動

大規模森林火災 大雪 突風 洪水

背景 VUCAの時代

予測が困難で不安定な状況
変化の速度がとても速い

V
U
C
A
変動 不確実 複雑 暫昧

背景 OECD 経済協力開発機構
ラーニング・コンパス2030

大人と子供が、関わるすべての場面で一緒に「ウェルビーイング」を目指そう!

ウェルビーイング
よりよくあろうとすること
社会全体でよりよくある状態

背景 日本の教育が目指す人間像
Let's Goal

○めまぐるしく変化する社会の中で、その担い手になれる人
○社会全体のウェルビーイングを向上させる人

背景 新潟市の教育が目指す人間像
Let's Goal

しなやかに世界と未来を創る人

○「しなやか」は、「柔軟性、彈力性」「粘り強さ」「たくましさ」「適応力」
○「世界」は、グローバルな世界や自分が関わる身近な社会
○既成概念にとらわれず、主体性と挑戦する気概をもち、新たな価値を創造しながら、しなやかに「世界」と「未来」を創り出していく新潟市民であってほしいという願い

新潟市
教育振興基本計画
~にいがた学びのコンパス~

子どものウェルビーイング
安心 健全 より善く在ろう

教師のウェルビーイング
安心 健全 より善く在ろう

地域社会のウェルビーイング
安心 健全 より善く在ろう

背景 小合中 学校運営協議会

小合地域の教育が目指す人間像

達成のための主な手立て

10/28 協議の様子

小合地域の教育が目指す人間像
明るく挨拶できる人
個性豊かな人
笑顔で元気がある人

小合中の教育が目指す生徒像
仲間や地域の人と共に創造する
全力で楽しむ
わくわくの溢れる生徒
地域の交流の場となる行事の創造・活性化

その達成のための主な手立て
祭の活性化
奉仕活動の活性化

小合地域の教育が目指す人間像
感性豊かな人
伝統と絆で繋がる人
熱意をもって挑戦する人

小合中の教育が目指す生徒像
全力で楽しむ
わくわくの溢れる生徒
仲間や地域を尊重し、
助け合い高め合う生徒
積極的に創造する生徒

その達成のための主な手立て
祭の活性化
奉仕活動の活性化

小合デザイナー作成の提言スライドより～抜粋～



最初に、僕たちがどうして目指す生徒像や人間像をつくり、共有したいと思ったのか、説明します。

人類は、狩猟、農耕、工業、情報社会と進化して、今、ソサイエティ 5.0 という段階に来ています。「もの」と「インターネット」が融合した、とても便利な社会です。その陰には AI 人工知能の存在が欠かせません。また、世界はとても狭くなったと言われています。世界中で国や地域を超えて移動する人の数が年々、増加しています。その他、大規模森林火災、大雪、突風、洪水なども多発しています。2015 年、OECD はラーニング・コンパス 2030 を示しました。人間にとて都合のよいことも悪いことも含めて予測が困難で不安定。しかも、変化が急速な今の世界では、大人と子どもが、かかわる全ての場面で一緒に『ウェルビーイング※』を目指すことが重要、という提言です。日本も新潟市も、この考えを受けて教育を進めています。日本は今、「めまぐるしく変化する社会の中で、その担い手になれる人」「社会全体のウェルビーイングを向上させる人」等を目指す人間像に掲げています。同様に新潟市は「しなやかに世界と未来を創る人」を掲げています。世界も、日本も、新潟市も、みんな同様に言っていることがあります。それは、子どもがウェルビーイングを目指すには先生方や地域の方々といった大人もウェルビーイングを目指すことが重要なだと。

では、小合地域が目指す人間像は、どのようなものでしょう。僕たちは、体育祭や合唱祭などを通して、集団で目的を共有していたからこそ、小合中全体が、そして一人一人が大きく成長できたと実感しています。なので小合地域でも目的を共有した方が、大きな成長につながると思うのです。歓校長先生からは「小合中が目指す生徒像」も考えてほしい、と依頼されました。先生方だけで目指す生徒像を決めるのではなく、生徒が主体となって決めるからこそ、僕たちは大きく成長できると、思っています。

僕たちは全校にアンケートを取り、小合地域の方々や小合中生のよさに注目しました。そして、そのよさをさらに高めようと努めることが、一人一人のさらなる成長につながると考えました。10 月の学校運営協議会の場で地域の方々からいただいた「感性」や「挑戦」、「伝統」といった強い想いの込められた素敵な言葉に共感しました。そして、11 月の三校合同会では、2 つの小学校に関係する大人の方々、社会福祉協議会の方々、そして小学 6 年生のみんなにも参加してもらって、協議しました。このとき、地域の方々から、改めて地域や子どもへの熱い想いを伺いました。小学生と話せたことも貴重な機会でした。

以上のことから、小合地域の教育が目指す人間像について、改めて提言します。「感性豊かな人」「伝統と絆で繋がる人」「熱意をもって挑戦する人」です。3 つにしたのは、考えるほどに小合中の教育目標である「自主」「協力」「創造」が素敵だと感じたからです。1 つ目は自分の在り方について。2 つ目は他者とのかかわりについて。そして 3 つ目は、これから時代を強く生き抜く決意を示しています。自分の在り方として「感性豊か」、他者とのかかわりとして「伝統と絆で繋がる」、そして決意として「挑戦」としました。「感性」、「伝統」、そして「挑戦」という言葉に、地域みんなの、強い想いを込めたつもりです。

次に、小合中の教育が目指す生徒像について。「全力で楽しみ、わくわくの溢れる生徒」「仲間や地域を尊重し、助け合い高め合う生徒」「積極的に創造する生徒」です。結果的に小合中の教育目標を僕たちの言葉で表現し直した形となりました。1 つ目の自分の在り方として「全力」そして「わくわく」という言葉に強い想いを込めました。2 つ目の他者とのかかわり方として、何よりも「尊重」、そして「助け合うのは当然で、更に高め合えるレベルまで行こう」としました。3 つ目の「創造」という言葉に僕たちの決意を込めました。

人間像と生徒像。これらを明確にした上で、どうしたらこの目指す姿に到達できるのでしょうか。僕たちの提言はこの 2 つ。「祭の活性化」「奉仕活動の活性化」です。みなさんと話す中で、小合の素晴らしさがたくさん見えてきました。その一つが「伝統」です。小合ではすべての自治会と町内会で祭りが継承されています。僕たちはこの伝統を受け継ぎたい。だから祭に積極的に参加したい、そう思っています。小合の素晴らしさは他にもあります。「人に奉仕することが大好きだ」ということ。僕たち小合の人たちは、人と関わるのが大好きなんです。だから、今まで何気にやっていた奉仕活動を、もっと意志を持って取り組みたい。そうすれば、小合のよさが、より実感できるのではと考えています。

小合デザイナー

※ ウェルビーイング：よりよく在ろうとすること、かかわる様々な社会でよりよく在る状態 等

★「小合地域の教育が目指す人間像」等については、小合コミ協の総会を経て正式決定されます。★





三校合同会では、小合中1、2年生有志からなる小合デザイナーを中心に、三校のCS委員はもちろんのこと、小合コミ協の学校部やミラビの皆様、秋葉区社会福祉協議会の方々、三校の教職員、そして小合東小と小合小の6年生有志児童が一堂に集い、協議しました。会の後、参会者からは「自分もまだ何かしら役に立てるのであれば嬉しいですし、感謝です。(大人)」「子どもならではの発想と、経験豊富な大人の発想がそれ違ったので新しい気づきがあった。(小合中生)」「来年一緒になる小合小や小合中の人と仲良く話せたり、今後についてたくさん考えたりできて楽しかった。(小合東小児童)」など、充実の声がたくさん寄せられました。子どもと大人がつながり、児童と生徒がつながった、貴重な機会でした。

小合デザイナーの提言を受けた小合コミ協の井浦会長からは、感性、伝統、ともに小合の誇るものであり、挑戦する熱意も含め、大いに共感できる、といった旨の言葉をいただきました。そして、小合コミ協としてできる限り全力で協力したい、と賛同・応援の声をいただきました。

この様子を見届けた長崎区長からは、「子どもだけ、大人だけ、ではなく、一緒に取り組もうという姿勢やウェルビーイングの実現に向けて“やりたい”を突き詰める姿は素晴らしい夢を抱き続けてほしい。そして提言にあった“創造”“感性”“主体性”はいずれも重要で、自分から考えを作れる人であってほしい。」などと小合デザイナーの取組を価値付けて下さいました。そして「失敗は糧と思えば次に繋がる、足を止めず前に進もう、まずはやってみる、やれば次に繋がるから。」とメッセージを下さいました。

大きなプロジェクトを自分たちで立ち上げ、自分たちで運営する。周囲を巻き込み、よりよき姿を模索し続ける。これは、簡単なことではありません。小合デザイナーのみなさんは、他の様々な活動や為すべきことがらと並行して、調整しながら、短時間で最大限の努力を重ねてきました。よくぞここまで考え抜いてくれたと、感心しています。今回の取組は地域としての躍進であり、伝統として受け継がれる大きな出来事となることでしょう。そして、今回の成果は、常日頃から小合の子どもたちの『わくわくが好き』『ひとのための行動が好き』『かかわるのが好き』だから『イベントが大好き』という、温かく、創造力に溢れた雰囲気だからこそだと、私は感じています。

小合中学校 校長 永井 歓

早速、「奉仕活動の活性化」の実現へ

サンタ・ボランティアに手を挙げた小合中有志生徒8名は、スタッフとして運営から片付けまで行いました。先の提言「奉仕活動の活性化」をまさに実現した素敵なかいでした♪



12/21 小合クリスマスの集い～赤ん坊から園児、児童、生徒、そして大人の笑顔溢れる姿～

